

普及技術

分類名〔草地飼料〕

普 8	飼料用トウモロコシ奨励品種「SH4812」
-----	-----------------------

宮城県畜産試験場

**要約**

収量性、耐倒伏性、耐病虫害性や赤カビ耐性において優秀な能力を持つ飼料用トウモロコシ「SH4812」を奨励品種とする。

**1 取り上げた理由**

市販されている流通品種の特性を把握することを目的とした、県内適応品種選定試験を行った。その結果、安定した成績を示す品種「SH4812」の優位性が確認された。この品種を用いることで、より安定した収量が期待されるため、普及技術とする。

**2 普及技術**

(1) 飼料用トウモロコシとして「SH4812（系統名 SH4812）」を奨励する。

イ 全ての項目で、標準品種並みに優れる（表3～表6）。

主な特性は下記のとおりである。

表1 主要な特性表

商品名	品種名	早晩性	メーカー RM	収量性※	耐倒伏性	耐病性					虫害	赤カビ
						ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病		
スノーデント SH4812	SH4812	中生	雪印 125	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※収量性：総乾物重量及びTDN収量

凡例： ◎優れている      ○普通      △やや劣る      ×劣る

**3 利活用の留意点**

- (1) 栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とすること。
- (2) 栽植本数は、10a当たり6,000～6,500本（畝間75cmの時、株間約21cm）とし、1本仕立てとする。
- (3) 試験は、畜産試験場（大崎市岩出山）の試験ほ場で実施したものである。
- (4) 播種は、5月上旬に行い、発芽の翌日から収穫期までの4ヶ月平均値を用いて検討を行った。また、評価に用いた成績は、20本/区を3反復し得られたものである。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話0229-72-3101）

## 4 背景となった主要な試験研究

(1) 研究課題名及び研究期間 飼料作物・牧草適応品種の選定(平成27～30年度)

(2) 参考データ

表2 各供試品種の情報

早晩性	品種名	RM	メーカー	供試期間
中生	SH4812	125	雪印	H27～H30
	SH2821	125	雪印	標準品種

イ 発芽の良否は、標準品種並に優れている(表3)。

表3 生育特性

品種名	発芽良否 ※1	雄穂 抽出期	雄穂 開花期	絹糸 抽出期	黄熟期
SH4812	9.0	7/21	7/22	7/24	9/4
SH2821(標準)	9.0	7/24	7/25	7/27	9/6

※1 極良を9, 極不良を1とする

ロ 耐倒伏・折損性は、標準品種並みに優れている(表4)。

表4 形態的特性および耐倒伏性・耐折損性

品種名	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	稈径 (mm)	倒伏 (%)	折損 (%)	倒伏・折損 合計(%)
SH4812	309.2	153.2	27.0	2.0	3.3	4.9
SH2821(標準)	301.3	159.3	27.9	0.7	5.7	6.4

ハ 総乾物重量とTDN収量は、標準品種並みに優れている(表5)。

表5 収量性

品種名	総乾物重 (kg/10a)	雌穂総重 (kg/10a)	茎葉重 (kg/10a)	乾雌 穂割合(%)	雌穂 乾物率(%)	茎葉 乾物率(%)	総体 乾物率(%)	TDN収量 (kg/10a)※1
SH4812	2160.5	942.5	1187.2	43.4	51.9	19.6	27.5	1437.7
SH2821(標準)	1987.4	800.3	1162.5	39.8	48.7	17.9	24.4	1307.3

※1 推定式により算出。推定TDN量=乾物茎葉重×0.56+乾物雌穂重×0.82

ニ 耐病虫害性は、標準品種並みに優れている(表6)。

表6 耐病性および虫害発生程度

品種名	ごま葉枯※1	すす紋※1	紋枯病(%)	黒穂※1	根腐※1	虫害(%)	赤カビ(%)
SH4812	0.8	0.7	18.2	0.2	0.0	3.0	25.8
SH2821(標準)	1.5	1.3	19.5	0.1	0.0	2.2	42.7

※1 被害程度に応じて、無を1, 甚を9とする

(3) 発表論文等

なし

(4) 共同研究機関

なし